

相澤病院 形成外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026年5月1日(西暦で記載)

**「頬骨骨折における CT 所見と開口障害の相関に関する多施設共同後ろ向き観察研究」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2026-012
研究課題名	頬骨骨折における CT 所見と開口障害の相関に関する多施設共同後ろ向き観察研究
所属(診療科等)	形成外科
研究責任者(職名)	永井史緒 (形成外科・統括医長)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2031年1月31日
研究の意義、目的	頬骨や頬骨弓が折れる骨折を受傷した方の CT 検査の結果と口の開けにくさの関係性を明らかにすることを目的とした研究で、CT 検査により正確な症状の予測や適切な治療方針の決定に貢献すると考えられます。
対象となる方	2013年4月1日から2025年3月31日の期間に共同研究機関で頬骨骨折(頬骨弓単独骨折を含む)について医療を受けられた方
利用する診療記録	年齢、性別、受傷の仕方、手術加療の有無、開口障害の有無および程度、CT 検査の結果
他機関への試料・情報の提供方法	氏名や生年月日等の個人の特定につながる情報は削除し、かつパスワード保護したファイルで情報提供を行います。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、口の開けにくさと CT 検査結果との関係性について検討します。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	信州大学医学部附属病院(責任者:藤田賢吾)、長野赤十字病院(責任者:三島吉登)、相澤病院(責任者:永井史緒)、諏訪赤十字病院(責任者:川村達哉)、伊那中央病院(責任者:近藤昭二)、飯田市立病院(責任者:中嶋優太)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学医学部附属病院 研究責任者:杠俊介
問い合わせ先	氏名(所属・職名):永井史緒 (形成外科・統括医長) 電話:0570-03-3600 (病院代表)

**既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要は**

ありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である信州大学医学部附属病院に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。